

メールは utsunomiya@yomiuri.com へ



熟練の技で優勝杯

大谷石 ルネサンス

宇都宮市特産の大谷石は、地元で秋に開かれる自転車ロードレースの国際大会「ジャパンカップ」に彩りを添えている。この大会の優勝トロフィーは、京都を代表する石工・渡辺哲夫さん(57)の手による大谷石製のオブジェだ。

飾る ジャパンカップ

ツゴツとした石塊が、みるみるうちに彫刻作品へと姿貌した。大会の周回コースをかたどったオブジェを、直線的でありながら素朴で温かみのある感じに仕上げると、静かな笑みを広げた。

「今年も良くてきた。二荒山神社の鳥居やら自転車帰りの語り合わせから南極大陸観測隊に贈られたこともある。美術工芸品を作る石工だけで20人以上も

後継者育成 初の講座

石工の後継者不足を解消しようと、大谷地区の石材業者らが来年4、9月、技術訓練講座「大谷アカデミー」を初開催することになった。

宇都宮大の藤本信義名誉教授(建築学)が校長を務める。渡辺さんが「技術指導部長」の立場で講師陣を統率する。平日は午後7時59分から、月謝が1万円。問い合わせは、事務局の大谷石内外装材協同組合(028・6552・700)。

渡辺さんは石工の両親のもとに生まれ、23歳の頃に父に弟子入りした。1983年、28歳にして大谷石建築の傑作「帝国ホテル」の中央玄関部分を東京から愛知県犬山市に移築し、修復する大仕事を任せられた。

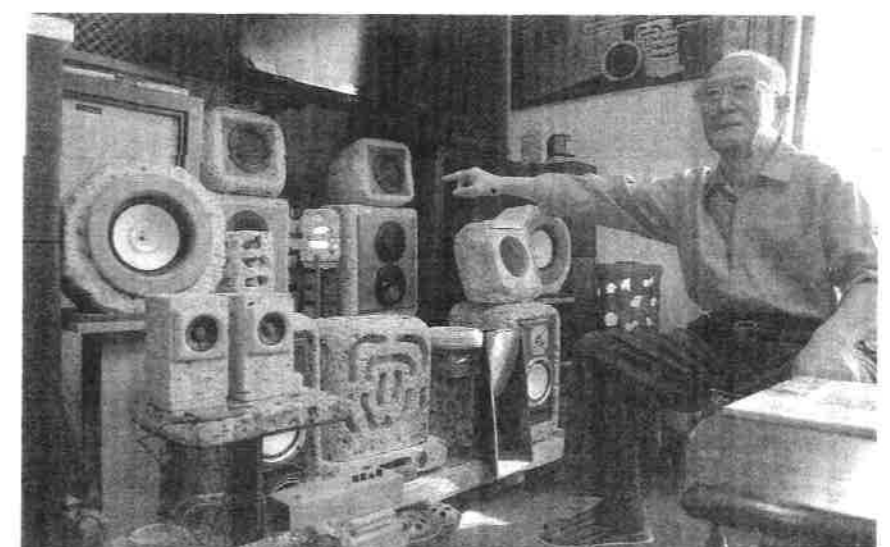
透明な響きスピーカー人気

削る Create

大谷石は石材としては軟らかく、穴や凸凹が多くて表面積も大きいことなどから、御影石や大理石などと比べると音をよく吸収する。その特質を生かした「大谷石スピーカー」が、今年に入って静かな人気を呼んでいる。

宇都宮市宝木本町のオーディオ機器メーカー「サウンドホール響」は、箱形にくりぬいた大谷石によってスピーカー機器を包んだオーディオメーカー商品を取扱している。インテリアとして美しいだけでなく、鳴った音が石に吸収されやすいため次の音の邪魔をせず、透明感のある響きで音楽鑑賞を楽しめる。

「大谷石スピーカー」が、今年に入って静かな人気を呼んでいる。購入者の評判もよく、千葉県松戸市の会社役員(33)は「他のスピーカーと一味違う、重厚で奥行きのある音が出る」と満足げ。注文のペースは今後伸びそうなお勢いだ。



大谷石スピーカーへのこだわりを熱く語る高根沢さん(1日、宇都宮市宝木本町で)



- 32 スーパーF 山本が総合V (写真はY.S. Photography提供)
- 32 SCホーム最終戦で勝利
- 33 真岡団子事故第三者委報告
- 33 いじめゼロ 大人も宣言
- 37 おくやみ
- 37 那須連山が冬景色
- 37 作文展審査30人喜びの表彰

建築・設計施工

福地建設株式会社

〒321-0003 宇都宮市栗原町2537番地6
TEL:028(0)61-0011 FAX:028(0)61-0011

第5回
飯村がデザインした
トロフィーです